

授業科目名 (英文名)	生命分子システム論 (Molecular Systems of Biology)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1、2年次・後期
担当教員	今高 寛晃	所属	工学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	生命を構成している分子がどのように働いているかを理解し、それらを工学的に応用するための知識を身につける。院生各自が生命分子に関する論文紹介を行い、生命分子システムおよびその応用に関して幅広い知識を身に付けることを目標としている。また、効果的なプレゼンテーションのやり方も身につくようにする。		
講義内容・授業計画	1 - 15 受講者各自が生命分子に関する論文(英文)を一つ選び、一人ずつ内容を紹介していく。方法はパワーポイントや配布資料を用いず、授業形式にてホワイトボード上でプレゼンテーションを行う。		
テキスト	なし		
参考文献	適時講義資料(原著論文など)を配布する。		
成績評価の基準・方法	プレゼンテーションの出来具合で判断する		
履修上の注意・履修要件	紹介論文(英文)は生命分子に関するものに限定する。 新型コロナウイルス感染症に伴う特例措置に基づく遠隔授業 当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法とする場合があり、自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。		
実践的教育	該当しない		
備考	本学の配付資料を参照してください。		